

●株主の皆様へ●

# 第56期報告書

2015年3月1日▶2016年2月29日

証券コード：9945

株式会社プレナス

# Plenus

---



代表取締役社長 塩井 辰男

## ■ 2016年2月期 連結業績サマリー

売上高	1,458 億円	前期比 △ 4.4%
営業利益	64 億円	前期比 △ 3.2%
経常利益	67 億円	前期比 △ 12.8%
当期純利益	36 億円	前期比 △ 14.3%
国内グループ店舗数	3,016 店舗	前期比 △ 17 店

## ■ 2017年2月期 連結業績予想

次期の連結業績は、売上高1,506億円(前期比3.3%増)、営業利益75億円(同15.6%増)、経常利益78億円(同16.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益43億円(同18.4%増)と予想しております。

このたびの熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの第56期(2016年2月期)の業績と主な取り組みについてご報告いたします。

## 当期の経営概況と業績

当期における外食産業は、人手不足の状況が継続し、また、個人消費の回復の動きが弱まる等、厳しい事業環境が続きました。

こうした環境の下、当社グループは、「新たな顧客層の開拓」と「損益構造の改革」の2つの施策を推進してまいりました。

「新たな顧客層の開拓」につきましては、健康志向・女性・シニア層など、これまでご来店が少なかったお客様への訴求を強化しました。一方で、地域色のある商品やボリューム感のある商品も適宜発売し、幅広いお客様へ付加価値の高い商品の提供に努めました。

「損益構造の改革」につきましては、原材料費や人件費の高騰などの外部環境に対応するため、店舗の原価改善をはじめ、広告宣伝費等のコストの効率化、不採算店舗の早期退店、改装・移転等による店舗の収益力強化に注力いたしました。

フランチャイズ展開も引き続き推進し、「ほっともっと事業」「やよい軒事業」ともに加盟店舗数は増加しております。

また、新たな取り組みとして、持ち帰り弁当事業の新ブランド「BizLunch(ビズランチ)」を昨年10月に創設いたしました。

しかしながら、当期の連結業績につきましては、売上

高は既存店売上高が前期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で、減収となりました。営業利益は、直営店舗原価の改善や広告宣伝費等のコストの効率化を図ったものの、既存店売上高の減少等の影響により、減益となりました。なお、経常利益・当期純利益は前述の影響に加え、為替差益が減少したことにより、大きく前年を下回りました。

## 今後の取り組みについて

今後の事業戦略については、当期注力してきた高付加価値商品の提供を引き続き推進し、課題である既存店売上高の早急な回復を目指します。具体的な実現にむけてまず、大きく組織体制を変更いたしました。

本年2月より、「ほっともっと事業」において地域毎の特性に応じた戦略を迅速に実行する体制を強化するため、エリア別組織に再編しました。また、東京に戦略立案部門を配置し、本年3月より東京と福岡の二本社制をスタートさせました。これらの組織変更によって、マーケティング

機能や地域戦略の最適化を図り、さらなる商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に取り組んでまいります。

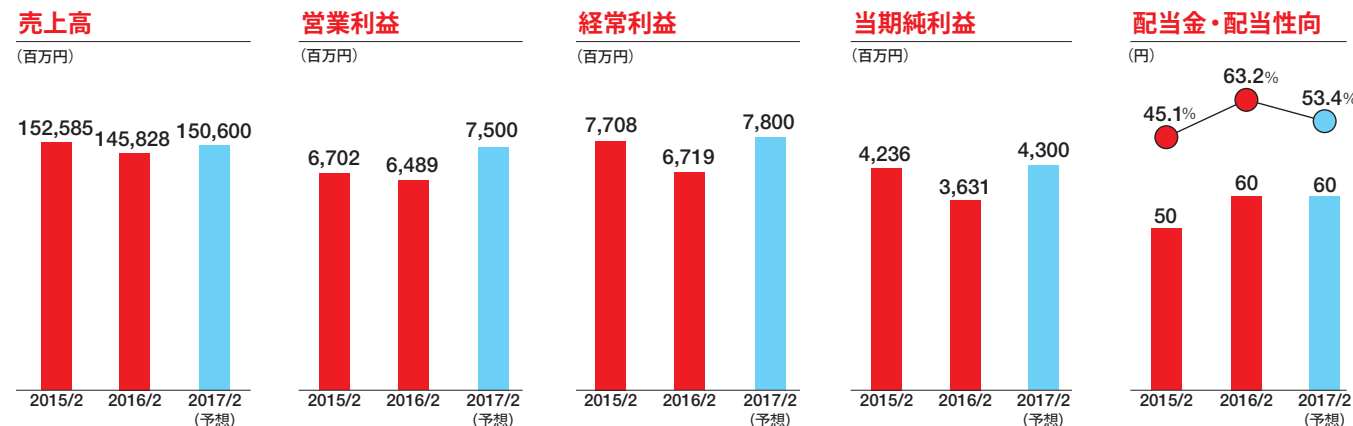
また前述の取り組みに加えて、引き続き中長期的な成長戦略である「新規出店の推進」と「店舗の収益力向上」にも注力し、今後とも当社グループは「はじめに消費者ありき」の創業精神を貫きながら、持続的成長を目指してまいります。

## 配当金について

当社は、年間配当 60 円または、年間配当性向 50% を達成する金額のいずれかが高い額をお支払いすることを、配当の基本方針としております。これに基づき、当期の配当金は、1 株当たり 60 円（内、中間配当金 30 円）とさせていただきます。なお 2017 年 2 月期は、年間配当 60 円を予想しております。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 連結業績の推移



# 事業別の概況

売上構成比

78.1%

## ほっともっと事業

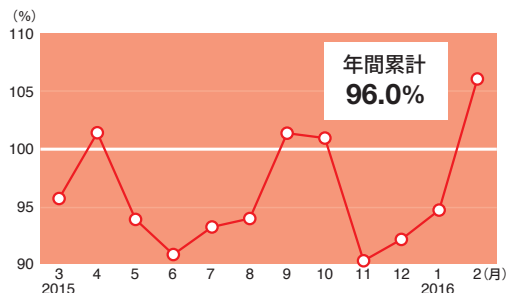
つくりたてのあたたかいお弁当を販売する「ほっともっと」を全国で展開しています。持ち帰り弁当のトップブランドとして、おいしいごはんにこだわり厳選した高品質の国産米を使用し、店内調理によるできたてのお弁当を提供しています。



	2016年2月期 実績	前期比
売上高	1,139 億62 百万円	△ 6.4%
営業利益	49 億70 百万円	+ 1.2%
国内店舗数		
出店数	67 店	△ 57
退店数	106 店	+ 18
期末店舗数	2,689 店	△ 39

※「BizLunch」3店舗を含む

### 既存店売上高前年比推移



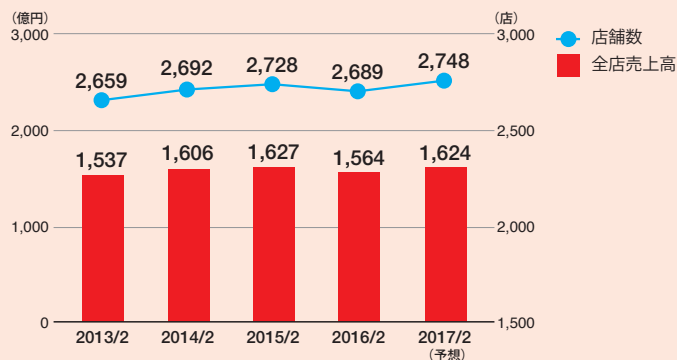
## ■ 当期の業績について

当期は当社の強みである“店内調理による手づくり”の特長を活かしつつ、全弁当メニューの減塩や『タニタ監修弁当』の発売等、健康志向のお客様への訴求を図りました。さらに、全国各地域に根付いた料理を商品化した『ご当地弁当』や、人気 No.1 の“のり弁当”と食欲をそそる“牛めし”を合わせた『のり牛』をお得な価格で発売する等、幅広いお客様のニーズへの対応も図りました。

昨年6月には、地域により人件費や地代家賃等の店舗運営に係るコストが異なる状況に対応するため、三大都市圏にて一部商品の価格改定を実施しました。また、店舗の改装・移転を積極的に行うとともに、不採算店舗の早期退店を進めるなど、店舗の収益力強化にも注力しました。

店舗展開については、新規出店を67店舗、退店を106店舗行った結果、当期末現在46都道府県で2,689店舗となりました。また、一部店舗への券売機の導入や、忙しい都心部のお客様のニーズを満たす新たな持ち帰り弁当ブランド「BizLunch (ビズランチ)」の創設など、新たな取り組みも行ってきました(「BizLunch」は8頁で参照)。フランチャイズ展開も引き続き推進しており、「ユニットFC制度」を活用して新規オーナーの

## 〔国内店舗数と全店売上高の推移〕



※「BizLunch」を2016/2期に3店舗、2017/2期に75店舗含みます。

獲得及び既存オーナーの多店舗化を進めた結果、ユニットFCの店舗数は前期末 559 店舗から 当期末現在 816 店舗と着実に増加しております。

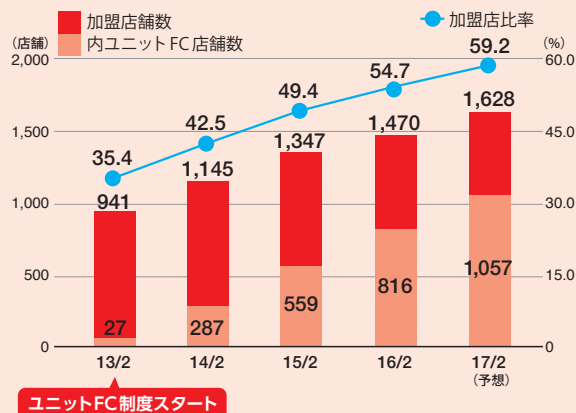
当期の業績につきましては、売上高は既存店売上高が前期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことにより、前期実績を下回りました。営業利益は直営店舗原価の改善や広告宣伝費等のコストの効率化を図った結果、前期実績を上回りました。

注) 直営店を加盟店に移管することにより、当社の売上高は、店頭売上高ではなく、加盟店に対する食材・包装等資材の販売金額やロイヤリティ等の収入が対象となるため、減少します。

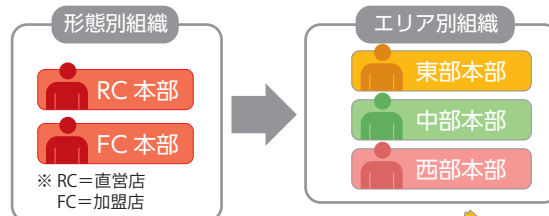
## ■ 今後の取り組みについて

当期より取り組んできた、“健康”をテーマとした商品施策やお手頃な価格で魅力ある商品などを、ターゲット層

### [ 加盟店舗数 (ユニットFC店舗数含む) の推移 ]



## ほっともっとの組織再編



地域毎の特性に応じた戦略を迅速に実行する体制を強化しました。



に合わせて投入することによって、新規顧客の獲得や来店頻度の向上を図ります。

また、ほっともっとの店舗運営に係る組織を地域別に独立させ、地域毎の特性に応じた戦略を迅速に実行する体制に変更しました。地域によって異なるニーズに合わせた商品投入を行うなどの地域戦略によって、店舗の売上獲得に注力いたします。

その上で引き続き、新たな持ち帰り弁当ブランド「BizLunch」も含めた「新規出店」と、ユニットFCの推進による「フランチャイズ展開の拡大」を進めていくことで、お客様の満足度を高め、さらなる発展を目指してまいります。

# 事業別の概況

売上構成比

19.5%

## やよい軒事業

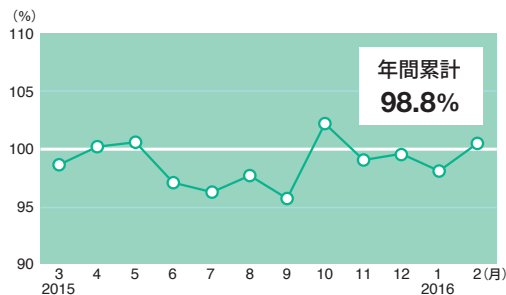
日本人の主食である炊きたてのごはんを中心に、みそ汁、そしておかずと副菜などを一つのお膳にバランス良くまとめた『定食』を提供しています。

「やよい軒」は、そんな日本の食の知恵が詰まった『定食』をもっと多くの人々に広げるために、「YAYOI」として世界に展開していきます。



2016年2月期 実績		前期比
売上高	284億77百万円	+ 3.2%
営業利益	13億62百万円	△ 26.4%
国内店舗数		
出店数	25店	△ 5
退店数	2店	△ 1
期末店舗数	297店	+ 23

### 既存店売上高前年比推移



## ■ 当期の業績について

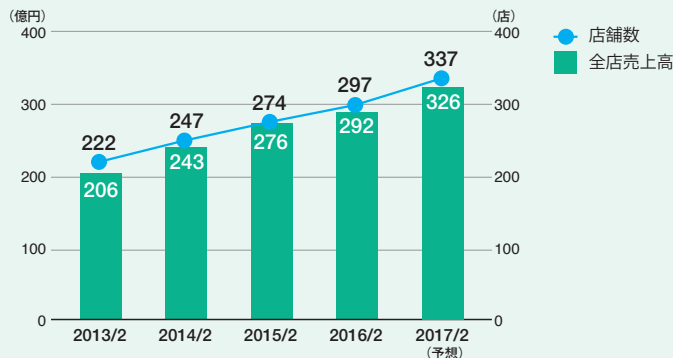
素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、季節感や郷土性を取り入れたメニューや、ボリューム感あるメニューを多彩に取り揃え、他店との差別化を図りました。また、定食・朝食のごはんを十六穀米に変更できるサービスを開始し、健康的でバランスのよいメニューを発売するなど、女性やシニアのお客様への訴求を図りました。

店舗展開については、沖縄県・茨城県・和歌山県・新潟県への初出店を含め、国内で25店舗出店し、事業展開エリアの拡大を図りました。退店は2店舗行い、店舗数は当期末現在33都府県で297店舗となりました。

また、前期より本格的にスタートしました「ユニットFC制度」を活用して新規オーナーの募集に注力した結果、ユニットFC店舗は前期末の18店舗から当期末現在52店舗となりました。

当期の業績につきましては、売上高は新規出店による店舗数が増加したことが要因で、前年実績を上回りましたが、営業利益は既存店売上高の減少や広告宣伝費の増加等により、前年実績を下回りました。

### 〔国内店舗数と全店売上高の推移〕



## ■ 今後の取り組みについて

商品施策については、引き続き季節感や郷土性、健康志向やボリューム感のあるメニューを、ターゲット層に合わせて投入することによって、幅広くお客様の満足度を高め、来店頻度の向上を図ります。

店舗展開については、国内の未進出のエリアも含め継続して新規出店を推進し、次のステップとして500店舗体制を目指していきます。また引き続き「ユニットFC制度」を活用したフランチャイズ展開を進めることで事業の基盤を一層強化してまいります。

海外への展開については、重要な成長戦略のひとつと位置づけており、2016年3月にアメリカ1号店となる「YAYOI Palo Alto店」をオープンしました。また、アジア・オセアニア地区における当社ブランドのフランチャイズ本部としての子会社 Plenus Global 社は、フィリピン共和国内における「やよい軒 (YAYOI)」のエリアフランチャイズ契約を現地法人と締結しました。各国内の事情に通じた現地法人が展開することによって「やよい軒」のスピーディな出店と、海外事業の迅速かつ効率的な運営を図ってまいります。



このたびイメージキャラクターに、多部末華子さんを起用しました。明るく健康的なイメージの多部さんに「やよい軒」をPRしていただきます。

## 世界各国の YAYOI JAPANESE TEISHOKU RESTAURANT

アジア・オセアニア中心に海外への展開も積極的に行っている「やよい軒」。ここでは、各国の店舗やメニューの一部を紹介していきます。

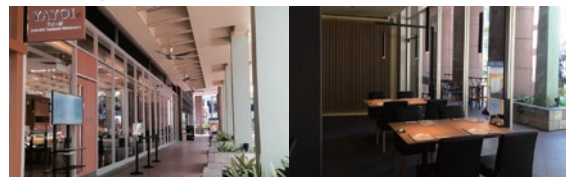
### オーストラリア



YAYOI Galeries

YAYOI GARDEN

### シンガポール



YAYOI Millenia Walk 店

### 台湾



YAYOI 敦南和平 (トンナンフーピン) 店

### メニュー



すき焼き定食

やよい御膳

ひつまぶし定食

# 事業別の概況

売上構成比

2.3%

## MKレストラン事業

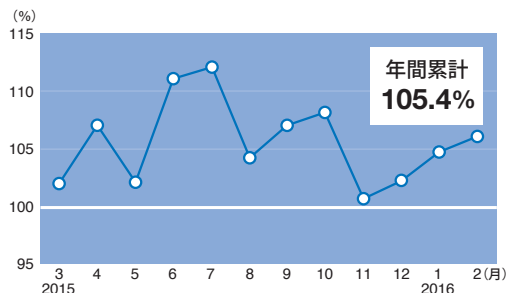
「MKレストラン」は、豊富な具材と個性豊かなスープの組み合わせで、新しい美味しさを何度でも味わえるMK鍋と本格飲茶を提供するレストランです。

充実の食べ放題コースの他に、気軽に食べられるセットメニューやランチメニューもご用意しています。



2016年2月期 実績		前期比
売上高	33億88百万円	+3.4%
営業利益	2億75百万円	+128.4%
国内店舗数		
出店数	0店	±0
退店数	1店	±0
期末店舗数	30店	△1

### 既存店売上高前年比推移



## ■ 当期の業績について

豊富な具材と個性豊かなスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶やランチセットも取り揃え、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。お客様に「MK鍋」をよりお楽しみいただけるよう、2種類のスープを選べる仕切鍋を導入した他、寿司食べ放題を開始する等の取り組みも実施しました。また、テレビCMの放映や携帯電話・スマートフォンを利用した「MKポイントサービス」会員の獲得にも注力する等、お客様の来店促進を図りました。

当期の業績につきましては、売上高は既存店売上高が増加したことが要因で、増収となりました。営業利益は既存店売上高の増加や、原価改善等により、前期実績を大きく上回りました。

今後も新規顧客の獲得と既存顧客の来店促進を図りつつ新規出店にも注力し、50店舗体制を目指してまいります。

## MK鍋とは？

MK鍋の食べ方にルールはありません。

ベースとなるスープをお選びいただき、野菜、お肉、ミンチ、水餃子、ワンタンなど、さまざまな具材からお好きな食材を入れて、お好きなソースと共に召し上がり下さい。スープ、ソース、具材、薬味の組み合わせは、無限大。様々な味の体験が楽しめます。



寿司食べ放題も実施しております（一部店舗を除く）。





**BizLunch**

## 都市型の持ち帰り弁当店

# 新ブランド **BizLunch** ビズランチ



「BizLunch (ビズランチ)」は当社が培ったノウハウを活かし、よりスピーディな商品提供を省スペースのコンパクトな店舗で実現させた、新しいスタイルの弁当店です。「BizLunch」の「Biz」は『Business = ビジネス』と『Busy = 忙しい』を意味し、忙しい日々を過ごす都会のビジネスパーソンに向けた新しい弁当店であることを表しています。

コンセプトは“おいしい弁当”を“無駄なくスピーディに提供”すること。店舗のキッチンで調理した手づくりのおいしい弁当のご購入に、券売機でご注文と会計を行っていただくなど、ご来店から商品のお受け取りまでの時間を短縮することで、ビジネスパーソンの貴重なランチタイムのタイムロスをなくします。

### 食券システムの採用で、スピード感のあるお弁当のお渡しを。

食券システムを取り入れた営業スタイルも革新的と言えるでしょう。注文後、スピーディにお弁当をお渡しして、多忙みなさんの時間にムダをつくらない。分刻みのスケジュールでビジネスに取り組む方にとって、ストレスを感じさせないランチタイムを実現します。

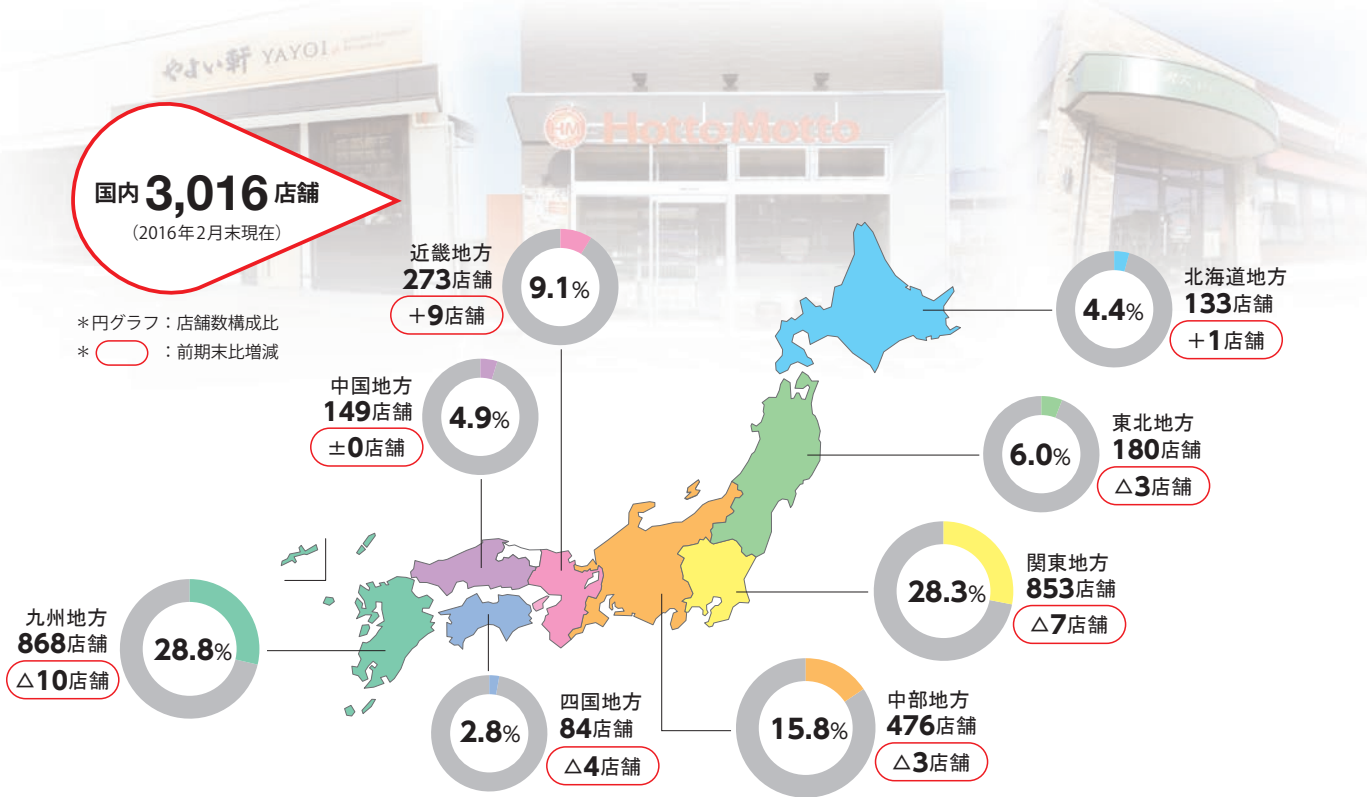


### BizLunch 店舗一覧

- ◆ 演舞場通り店 2015/10/20 オープン
  - ◆ 南青山1丁目店 2016/2/8 オープン
  - ◆ 日本橋箱崎町店 2016/3/7 オープン
  - ◆ 飯田橋3丁目店 2016/3/28 オープン
  - ◆ 日本橋兜町店 2016/4/4 オープン
  - ◆ 神田富山町店 2016/4/11 オープン
- 今後も都心部中心に出店を進めてまいります。



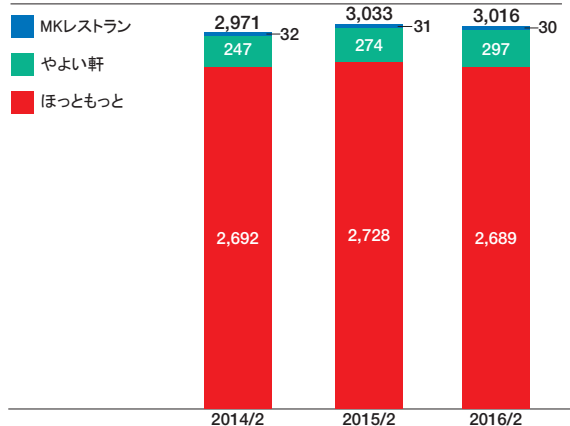
# 当社グループの店舗展開の状況



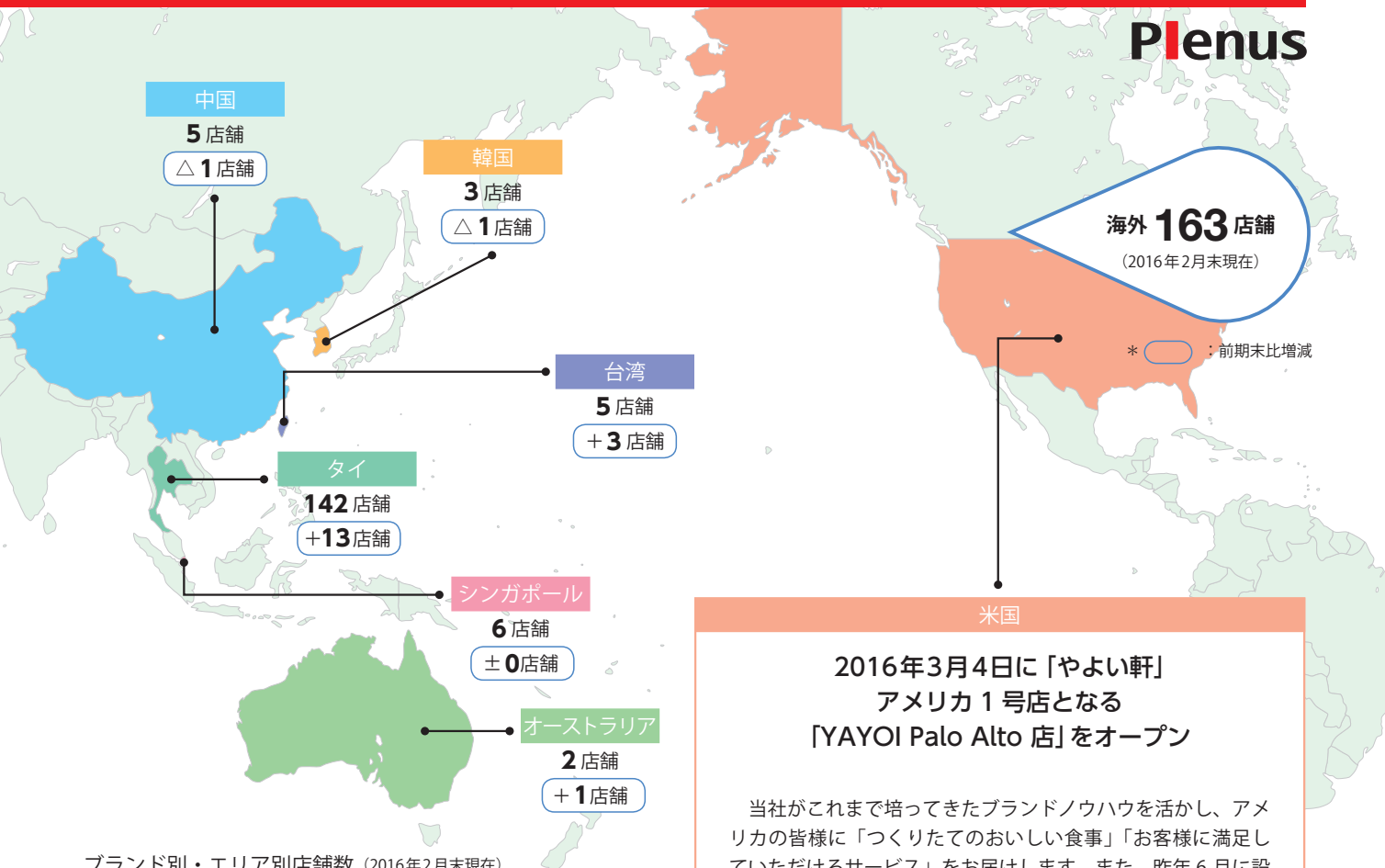
ブランド別・エリア別店舗数 (2016年2月末現在)

	ほっともっと	やよい軒	MKレストラン	エリア別合計
北海道地方	133	0	0	133
東北地方	180	0	0	180
関東地方	733	119	1	853
中部地方	453	23	0	476
近畿地方	198	75	0	273
中国地方	125	23	1	149
四国地方	81	3	0	84
九州地方	786	54	28	868
ブランド別合計	2,689	297	30	3,016

ブランド別店舗数の推移



※ほっともっと店舗には、都市型の持ち帰り弁当店「BizLunch(ビズランチ)」3店舗を含みます。



ブランド別・エリア別店舗数 (2016年2月末現在)

	初出店 時期	ブランド		エリア別 合計
		ほっともっと	やよい軒	
タイ	2006年	0	142	142
中国	2010年	5	0	5
シンガポール	2011年	0	6	6
韓国	2012年	3	0	3
オーストラリア	2014年	0	2	2
台湾	2014年	0	5	5
ブランド別合計		8	155	163

## 2016年3月4日に「やよい軒」 アメリカ 1号店となる 「YAYOI Palo Alto 店」をオープン

当社がこれまで培ってきたブランドノウハウを活かし、アメリカの皆様へ「作りたてのおいしい食事」「お客様に満足していただけるサービス」をお届けします。また、昨年6月に設立した子会社「BayPOS, Inc.」が、海外で展開する「やよい軒 (YAYOI)」店舗の効率的な運営を目指して開発した、新たなITシステムを同店に導入しています。



## トピックス



**Hotto Motto**  
ほっともっと

### 店内調理の特長を活かしつつ、“健康”をテーマとした様々な取り組みを実施

「ほっともっと」は、“店内調理による手づくり”を特長とした商品を提供することで、競合店との差別化を図っています。

4月に発売した『タニタ監修弁当』のリニューアルや、人気NO.1の“のり弁当”と食欲そそる“牛めし”を合わせた『のり牛』をお得な価格で発売する等、幅広いお客様のニーズへの対応を図りました。

海の幸の天ぷらを贅沢に味わえる  
『海鮮天丼』・『海鮮天とじ丼』

9月18日発売



ちゃんと、おいしい。ちやっかり低カロリー。  
『タニタ監修弁当』日替わり3種類

11月2日リニューアル



2015年

9月・10月

11月・12月

**YAYOI**

JAPANESE TEISHOKU RESTAURANT

### “季節感”や“郷土性”を取り入れた多彩なメニューを提供

「やよい軒」は、日本人の主食である炊きたてのごはんを中心に、素材や手づくり感にこだわりながら、みそ汁、おかず、副菜等を一つのお膳にバランスよくまとめた『定食』を、お手頃な価格で提供しています。

『ぼかぼか生姜鍋定食』や『とり天とだんご汁の定食』等の季節感や郷土性を取り入れた商品だけでなく、定食や朝食のごはんを十六穀米に変更できるサービスを開始し、女性やシニアのお客様への訴求を図りました。

じんわりしみる、やさしい味。  
『野菜ととり天のみぞれ煮定食』

10月6日発売



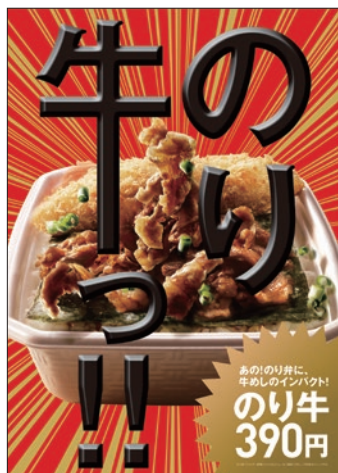
冬のしあわせ。鍋定食 第三弾  
『ぼかぼか生姜鍋定食』

12月2日発売



“のり弁当”+“牛めし”  
『のり牛』

1月5日新発売



2016年

1月・2月

大分名物を定食に仕立てました  
『とり天とだんご汁の定食』

2月16日発売



ほっともっと  
CLOSE UP

## 新生活応援キャンペーン特集

「ほっともっと」では、4月1日(金)より、新生活をはじめた方々に食事を通じて応援するメッセージCMをオンエアし、ホームページ内に特設サイトを設置しました。

また合わせて、「子供の一人暮らし」に関する調査\*を行いました。調査の結果で明らかになったのは、子供が一人暮らしをするにあたって「応援してあげたい」と思いながらもやはり「寂しい」と思う親が多いということ。また、最も不安なことは子供たちの食生活であり、「大丈夫そうだが、実態はわからない」と漠然とした不安を抱えていることです。

### ファイト! 新生活 スペシャルムービー「だけは、」



「だけは、」が  
母の口ぐせだった。  
その母は、  
たった一つの「だけは、」  
しか言わなくなった…。

ごはんだけは、  
ちゃんと食べることに。母より

体にだけは、  
気をつけて。息子より



知らない街。友達もいない。  
どうしようもない、不安、さみしさ。  
それでも、前を向いて、新しい一歩を踏み出すあなたへ。  
ほっともっとは、手づくりのあったかいお弁当で  
新生活を頑張る皆さんを応援します。

\*「子供の一人暮らし」に関する調査  
【調査方法】インターネット調査 【調査期間】2016年3月18日～3月22日  
【調査対象】全国の一人暮らしをしている子供がいる母親 500名

# 財務データ

## ■ 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

	当連結会計年度	前期比
売上高	145,828	△6,756 (△4.4%)
売上原価	66,406	△4,356 (△6.2%)
売上総利益	79,422	△2,400 (△2.9%)
販売費及び一般管理費	72,933	△2,187 (△2.9%)
営業利益	6,489	△213 (△3.2%)
経常利益	6,719	△988 (△12.8%)
当期純利益	3,631	△605 (△14.3%)

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位：百万円)

	当連結会計年度	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,291	+285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,890	△681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,116	△180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	277	△1,006
現金及び現金同等物の期末残高	16,827	+277

## ■ 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

	当連結会計年度末	前期末比
流動資産	34,421	+140
固定資産	55,158	+2,255
負債	25,200	+923
純資産	64,379	+1,472
総資産	89,579	+2,395

## ■ 主な経営指標

(単位：%)

	当連結会計年度	前期比
売上高営業利益率	4.4	+0.0
ROE	5.7	△1.2
自己資本比率	71.6	△0.2

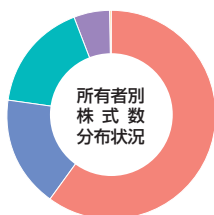
## ■ 会社概要 (2016年2月29日現在)

商号 株式会社プレナス (英文名 PLENUS Co., Ltd.)  
 創業 1960年3月  
 設立 1976年11月  
 資本金 34億61百万円  
 本社 福岡市博多区上牟田一丁目19番21号  
 従業員数 1,429名  
 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は7,438名(1日8時間換算)であります。

## ■ 株式の状況 (2016年2月29日現在)

発行可能株式総数 .....92,568千株  
 発行済株式の総数 .....44,392千株  
 株主総数 .....54,619名

### 株式数分布状況



所有者別	株式数(千株)	構成比率(%)
個人・その他	26,616	60.0
金融機関	7,732	17.4
その他国内法人	7,474	16.8
外国法人等	2,546	5.7
証券会社	22	0.1

\*個人・その他には、自己名義株式6,125千株(13.8%)を含んでおります。

## ■ グループ会社 (2016年2月29日現在)

- 【国内】(子会社) (株)プレナス・エムケイ  
 (株)プレナスフーズ  
 (株)プレナスワークサービス  
 (関連会社) (株)九州トーヨー  
 (株)フーディフレーザー
- 【海外】(子会社) 北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)  
 PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)  
 臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)  
 Plenus, Inc.(米国)  
 Plenus Global Pte. Ltd.(シンガポール)  
 BayPOS, Inc.(米国)  
 (関連会社) PLENUS & MK PTE. LTD.(シンガポール)  
 YK Food Service Co., Ltd.(韓国)

## ■ 役員 (2016年5月26日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	塩井 辰男
常務取締役 常務執行役員	大楠 泰弘
常務取締役 常務執行役員	田淵 豪
取締役 上席執行役員	鈴木 博
取締役 上席執行役員	立花 英信
取締役 上席執行役員	布山 稔
取締役 上席執行役員	金子 史朗
社外取締役	長沼孝一郎
取締役 監査等委員	高橋 勉
社外取締役 監査等委員	礪山 誠二
社外取締役 監査等委員	吉戒 孝
執行役員	一條 眞理
執行役員	田中 信
執行役員	森安 秀範
執行役員	香月 英樹
執行役員	山内チズル
執行役員	漆 新吾
執行役員	小森 剛
執行役員	添島 修

## 株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。(当社ホームページに掲載。)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-288-324

## 株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き(住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

### ■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

お取引のある証券会社等へお問合せください。

### ■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問合せください。  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 ☎ 0120-288-324

### ※未払い配当金について

未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

## 株主優待制度について

### (1) 対象となる株主様

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

### (2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ国内店舗で使用可能な株主様限定の『株主お買物優待券』を贈呈いたします。(年1回)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	500円『株主お買物優待券』5枚
1,000株以上	500円『株主お買物優待券』10枚

### (3) 贈呈の時期

5月下旬にご送付いたします。



株主お買物優待券見本

当社の株主優待制度は、「ほっともつと」「やよい軒」「MK レストラン」で『株主お買物優待券』をご利用いただける制度です(「BizLunch(ビズランチ)」、海外の店舗およびクレジットカード決済を除く)。

当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ先

## 株式会社プレナス 会計本部 経営管理室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1丁目7番1号 日本橋弥生ビルディング TEL.03-6892-0304  
ホームページアドレス <http://www.plenus.co.jp/>